



令和4年
南加納保育園

朝夕の空の色や肌に触れる風に、どことなく季節の移り変わりを感じる頃となりました。日が沈むと、コウロギやキリギリスの音色が聞こえます。保育園でも子どもたちと秋を探したいと思います。

9月の行事予定

1	木	安全点検・清掃の日
2	金	スポーツ教室
3	土	
4	日	
5	月	
6	火	身体計測(以上児)
7	水	身体計測(未満児) 予行練習
8	木	幼児工作教室(年長児)
9	金	誕生会
10	土	
11	日	
12	月	
13	火	
14	水	ダンス教室
15	木	予行練習
16	金	スポーツ教室
17	土	運動会
18	日	
19	月	敬老の日
20	火	さくらんぼリズム
21	水	絵画教室
22	木	避難訓練(風水害)
23	金	秋分の日
24	土	
25	日	
26	月	エコ活動
27	火	英語教室
28	水	交通指導
29	木	
30	金	防犯訓練



9月うまれのおともだち



- ・ とくだ くれはさん (1さい)
- ・ ふくおか いとさん (1さい)
- ・ あべ けんしょうさん (2さい)
- ・ ながとも ゆいさん (3さい)
- ・ やすなが やまとさん (3さい)
- ・ やすなが ゆあさん (4さい)
- ・ しらすき ひなたさん (4さい)
- ・ ひらの あんなさん (5さい)
- ・ くろき みあるさん (6さい)
- ・ なかの ひおりさん (6さい)
- ・ ひだか ゆなさん (6さい)



お知らせ

★17日(土)は運動会です。応援よろしくお願いします。詳しくはお手紙でお知らせいたします。

★運動会の練習では体力を使うため、しっかりと睡眠や食事を摂らせて下さい。いつもと違う様子の時は必ずお知らせください。

お盆明けより、新型コロナウイルス感染症が拡大し、保護者の皆様には、大変ご心配をおかけしております。これからも、子どもたちが安心して毎日を過ごせるよう今後更に、感染予防対策を徹底して行っていきたいと思いますので、保護者の皆様にもご協力をお願い致します。

夏野菜をたくさん収穫しました。

自分たちで育てたピーマンやなすびはとってもおいしかったです。みそ汁やみそ炒めにして食べました。





げんきだより



令和4年9月号

防災週間(8月30日～9月5日)

9月1日は防災の日です。園では、地震や火災、風水害などに備え毎月避難訓練を実施しています。ご家庭でも、火事や地震が起こったらどのように行動すべきか、避難場所の確認、煙を吸わずに逃げる方法や地震の時は机などの下に隠れるなど、日頃からお話をして緊急時に備えるようにしましょう。また、もしもの時に備え、リュックサックの中に防災グッズを用意しておくといいですね。

<防災リュックの中に用意しておくの良いもの>

- | | |
|---|---|
| ☐ 保存水(5～7年保存水) | ☐ タオル |
| ☐ 非常食 | ☐ マスク |
| ☐ ラジオ | ☐ ラップ |
| ☐ 懐中電灯 | (止血、食器の代わりに使えます) |
| ☐ ホイッスル(助けを呼ぶ時などに) | ☐ レインコート(防寒用にも) |
| ☐ 簡易トイレ | ☐ ウェットティッシュ(低刺激) |
| ☐ 絆創膏、消毒薬、包帯、ガーゼなど | |



- ・毎日飲まなければならない**お薬**も、すぐに持ち出せるようにしておきましょう。
- ・アレルギー体質の子どもさんは、**食物アレルギーに対応したの非常食**を備えておきましょう。
- ・小さな子どもさんの場合はミルク、哺乳瓶、オムツ、おしりふき、お菓子なども準備しておきましょう。

新型コロナウイルス感染症について

小児は無症状者や軽症が多いとされていましたが、オミクロン株が流行するようになって、**発熱、のどの痛み**を訴える子どもさんが増加し、また、熱性けいれんやクループ(犬が吠えるような咳など)がみられる症例も増加しています。

園では、換気や、接触感染対策としての消毒を行ったり、子どもさんに手洗いのやり方を伝えたりと、様々な対策を行っていますが、マスクについては、熱中症予防や、お子さんの年齢として着用が難しい場合があります。

子どもさんの体調が普段と違う場合や、感染の不安がある場合は園の方にご相談ください。園での感染拡大防止対策のため、ご協力のほど、よろしくお願いします。

感染症情報

胃腸炎、ヒトメタニューモウイルス感染症、手足口病・アデノウイルス・ヘルパンギーナの報告がありました。

ヒトメタニューモウイルス感染症は、RSウイルス感染症と同様に、乳児の急性細気管支炎や肺炎の原因となり、免疫低下の状態では重症化することがあります。ひどい咳や息を吐くときにゼーゼー、ヒューヒュー等の喘息のような音がするときにはすぐに医療機関に相談しましょう。

また、呼吸器症状以外にも、いつもと行動が違ったり、言動が妙に変であったりなどの症状がみられた場合も、重症化につながるおそれがありますので、ためらわずに医療機関に相談、または受診をしましょう。

